

に検討していきたい。
議員 最終処分場の延命化を図るため、焼却灰のエコセメント化計画が進められているが、課題を聞く。
生活環境部長 不燃ごみはエコセメント化できないので、その減量に取り組む。
議員 公共施設におけるごみ、せん定枝の資源化について、資源循環型モデル事業の展望を伺う。
生活環境部長 JA等との協働によって、事業の拡充・安定化に努めていきたい。

議員 新ごみ処理施設の建設計画は、今後のごみ施策の推進に大きな貢献が期待できる。建設に当たって、
 ①建設候補地にある不燃ごみ処理施設への影響を聞く
 ②財源確保と維持経費のね

協働のまちづくりの考え方を問う

政新クラブ 石井 議員



議員 市では、地域環境の向上と市民生活の充実に向けて、コミュニティの展開と協働のまちづくりを推進している。協働の推進は、公と民の役割分担を明確にし、立場をしっかりと認識した上での協働・協議が重要である。協働の概念、目的について市長はこのように考えているか。
市長 協働は、大変重要な地方自治、市民自治推進のあり方だ。高環境・高福祉のまちづくりへの一つの取り組みとして、協働のまちづくりがあると考ええる。
議員 まちづくりに関しては、地域特性や課題設定に応じて、様々な形態の協



ごみの資源化を進めたい
 ……エコ野菜を児童へ贈呈

ある。見解を問う。
助役 適材適所などが徹底されるよう努力したい。
議員 協働のまちづくりを進めるには、議会との関係

被災地の体系化で情報共有し 訓練通じ継承せよ

政新クラブ 榛澤 議員



議員 今年7月に起きた地震では、東京都の緊急呼び出し要員の一部が参集せず問題となった。市の対策本部起動の必要最低要員は何人を想定しているか。
市長 昨年は職員96人が参集し訓練を行った。今後も初動態勢の確立に努める。
議員 新宿区では危機管理課を設置し、あらゆる危機に備える体制をとっている。本市でも体制整備を考

保護者の負担軽減を図れ



未来の三鷹を創る会 増田 議員

議員 市内の学校の修学旅行費用は、企画等の手数料をみても、通常の研修旅行に比べ高いようだ。業者選定に入札制度を導入したり大手業者だけでなく複数業

服・体操着の価格には、学校間格差があるようだ。①公平性について見解を寄せ
議員 幼稚園や費用負担の多い認証保育所は定数割れの状態と聞く。①保護者負担の格差改善を聞く②私立幼稚園を幼保一元化施設として活用できないか。
市長 ①格差の検討をしつつ待機児解消を進めたい。
教育部長 ②必要があれば協議を進めていきたい。

積極的な広告事業で 市民資産の有効活用を

未来の三鷹を創る会 半田 議員



議員 大幅な税収増が見込めない中、広告媒体の開発は税収以外の財源確保の手段となる。これを地元企業が宣伝媒体として活用することで、商業振興にもつながる。①本市でも先進事例を見習い、積極的に広告料収入に取り組み必要がある。所見を伺う②実施済事業の年間収入額を聞く。
市長 ①本市における広告事業は、「市民便利帳」の巻末部分とホームページのバナー広告がある。今後の拡充については、個々の性格を十分に踏まえながら、丁寧に検討していきたい。
企画部長 ②平成15年度、

建物緑化で 都市環境の改善を

市民の党 斎藤 議員



議員 近年、都市部の気温が上昇するヒートアイランド現象が生じており、三鷹市も例外ではないと言われ

くく夜間は速やかに冷え、透水性・保水性とも優れている。地上スペースに限りのある場合には、建物緑化が特に有効だと考える。
議員 三鷹市緑化基準」等を拡大して、都市の緑化をさらに推進すべきではないか。
市長 多くの公共施設で屋上緑化を採用した。また、新式の保水性舗装を三鷹駅南口駅前広場「緑の小広場（仮称）」に導入予定である。
議員 屋上緑化や壁面緑化の普及には、①助成金制度

障がい者の雇用の自立支援 バリアフリーを

市民の党 杉本 議員



議員 障がい者の自立支援は緊急の課題だ。しかし、自立の基本となる、働く場と所得の確保はまだ十分ではない。①障がい者の自立生活への課題と取り組みを聞く②年次計画・数値目標を掲げた就労支援計画を整備し、具体的な施策に取り組むべきだ。市内の障がい者雇用の現状について見解を示せ③障がい者の雇用拡大のため、市と障がい者団体等との協働による福祉工場・企業設立を考

会議録をい覧ください

一般質問の詳しい内容をお知りになりたい方は、会議録をご覧ください。本庁2階の相談・情報センター、図書館等に備えるとともに、市議会のホームページ（「面上右参照」）にも掲載しています。
 なお、今定例会の会議録は、12月上旬に発行予定です。

議員 中学生を対象に、ホームヘルパー3級養成研修講座を実施する自治体がある。介護の担い手を育てるだけでなく、思春期の子どもたちが、命や老い、生き方を考える貴重な教育の場になっている。本市でも実施してほしい。見解を伺う。
健康福祉部長 社会福祉協議会と教育委員会で連携を図りつつ調整してみたい。